

ネットワークカメラを AI カメラ化しさまざまな現場の DX を支援 AI 機能を追加する microSD カード型アクセラレーターと 3 種類の映像解析アプリを発売

キヤノンは、アクシス社製ネットワークカメラ^{※1}を AI カメラ化する “AI アクセラレーター AS-AN11” および、専用の映像解析アプリケーション「侵入検知」「駐車検知」「映像変化検知」の 3 種類^{※2}を、2022 年 12 月上旬より順次発売します。



ネットワークカメラを AI カメラ化する
“AI アクセラレーター AS-AN11”

「侵入検知」使用シーン
(イメージ)

「駐車検知」使用シーン
(イメージ)

「映像変化検知」使用シーン
(イメージ)

“AI アクセラレーター AS-AN11”は、アクシス社製ネットワークカメラを AI カメラ化するための microSD カード型ハードウェア^{※3}です。カメラ本体に挿入し、専用映像解析アプリケーションをインストールすることで、AI による映像解析を容易に実現します。これにより、解析専用のサーバーやクラウドが不要となり、初期投資やランニングコストを抑えたシンプルなシステムを構築することができます。また、新規設置のカメラはもちろん既設のカメラ^{※1}にも対応できるため、既存の設備を生かしたシステム運用も可能です。併せて発売する専用映像解析アプリケーションは「侵入検知」「駐車検知」「映像変化検知」の 3 種類です。キヤノンは、防犯や見守り、マーケティングなど、さまざまな現場の DX を支えるソリューションを提供し、多様化するお客さまのニーズに応えます。

1. 立ち入り禁止エリアへの人物の侵入を発見できる「侵入検知」

頭部から人物を検出することで、人物の指定エリアへの侵入を検知できます。ヘルメットや帽子を被っていても人物検出が可能で、頭部から足元の位置も推定できるため、生産現場・物流倉庫などで足元が見えない場合でも高い検知率を発揮します。また、パトランプや投光器と連携させることで、立ち入り禁止エリアへの侵入を警告するなど、セキュリティ強化に貢献します。

2. 駐車車両の有無や長時間駐車のパトランプが可能な「駐車検知」

指定エリアに駐車した車両の有無や、一定時間を超える長時間駐車を検知できます。駐車状況をリアルタイムに確認可能なため、誘導スタッフは空いているエリアへのスムーズな案内ができるほか、人員配置やオペレーションの簡素化にも繋がります。また、駐車禁止場所では、検知した結果をパトランプやメールで警備員や施設管理者に通知し、速やかに対象車両への対応を行うことができます。

3. 人・車両だけでなく幅広いユースケースで利用可能な「映像変化検知」

基準となる元画像を学習し、映像の変化を検知できます。生産現場では、装置の稼働を妨げる人や物などを検知して通知することで、安全支援に貢献します。また、スーパーマーケットでは特定の商品コーナーの欠品状態を通知したり、倉庫内では通路上への荷物の置き去りを通知するなど、ユースケースを絞ることなく幅広いシーンで利用可能です。

※1. 対象機種については、キヤノン公式 HP でご参照ください。

※2. 3 種類いずれも ACAP (Axis Camera Application Platform) 上で動作するアプリケーションです。ACAP とは、アクシス社製ネットワークカメラにおいて映像解析アプリケーションを含む拡張機能を稼働させるためのオープンプラットフォームです。

※3. 本製品には映像データ等を記録できません。

製品名	希望小売価格（税別）	発売日
AI アクセラレーター AS-AN11	オープン価格	2022 年 12 月上旬
侵入検知 for AI アクセラレーター		
駐車検知 for AI アクセラレーター		2023 年 1 月中旬
映像変化検知 for AI アクセラレーター		

-
- 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 0570-08-0074
 - ネットワークカメラホームページ : <http://canon.jp/webview>

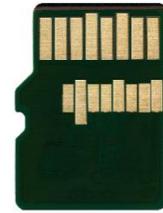
〈AI アクセラレーター AS-AN11 の主な特長〉

1. ネットワークカメラを AI カメラ化する“AI アクセラレーター AS-AN11”

- 対象カメラ本体の microSD カードスロットに挿入し、専用映像解析アプリケーションをインストールすることで、AI を活用した映像解析をカメラで容易に実現。
- 映像解析の結果にもとづき、カメラを通じたイベント通知が可能。これにより、ビデオ管理ソフトウェアの「AXIS Camera Station」、またはマイルストーンシステムズ社の「XProtect®」と連携すれば、イベント通知に連動した録画も対応可能。
- 新規設置のカメラはもちろん既設のカメラ※1 にも利用可能。既存の設備を生かしたシステム運用も可能。
- エッジ（カメラ本体）解析により、専用の解析サーバーやクラウドを用いることなく、初期投資やランニングコストを抑えたシンプルなシステム構築と運用が可能。

※1. 対象機種については、キヤノン公式 HP でご参照ください。

* 「XProtect®」は、Milestone Systems A/S の登録商標です。



“AI アクセラレーター AS-AN11”



豊富なラインアップが揃う
アクシス社製ネットワークカメラで利用可能

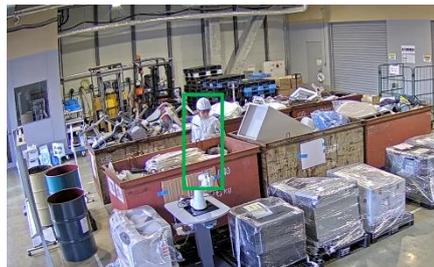
〈専用映像解析アプリケーションの主な特長〉

1. 立ち入り禁止エリアへの人物の侵入を発見できる「侵入検知」

- 頭部から人物を検出し指定エリアへの侵入を検知。
- ヘルメットや帽子を被っている人物の検出にも対応。
- 頭部から足元の位置を推定でき、足元が見えない場合でも高い検知率を実現。
- 侵入検知以外に、指定エリア内での滞留も検知可能。滞留の判定は 1 秒～120 分の間で設定可能。
- 侵入・滞留を検知するエリアは、最大 4 カ所まで設定可能。多角形を指定できるため複雑なエリアにも対応。
- 侵入・滞留検知の対象外とする除外エリアも最大 4 カ所まで設定可能。人物のポスターを検知してしまう場合などに効果的。
- ナイトモードの白黒映像にも対応しているため、夜間や暗所でも人物の検知が可能。
- パトランプや投光器と連携した警告の発信など、セキュリティ強化に貢献。



ヘルメットを被っていても人物検出が可能



足元が隠れた状況でも、推定した足元が侵入判定エリアに入っていれば検知可能



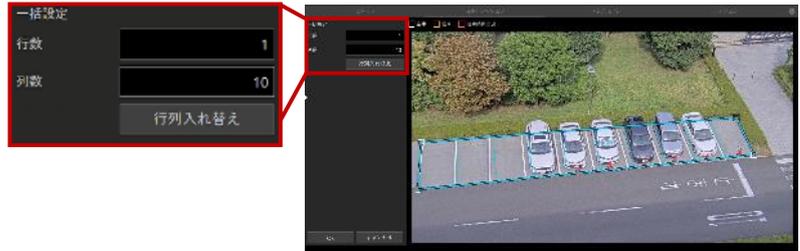
ナイトモードで夜間や暗所の人物検出にも対応

2. 駐車車両の有無や長時間駐車モニタリングが可能な「駐車検知」

- 指定エリアに駐車した車両の有無や、一定時間を超える長時間駐車を検知可能。
- 駐車状況をリアルタイムに確認できるため、誘導スタッフの効率的な案内業務に貢献。
- 指定エリア内に駐車車両を確認すると自動で駐車時間の計測を開始。長時間駐車の判定は1秒~120分の間で設定可能。
- 大規模な駐車場でも行数・列数を指定するだけで、駐車エリアの判定領域を簡単に設定可能。
- 検知結果を受けて、パトランプでの警告や、メールでの警備員や施設管理者への通知が可能。



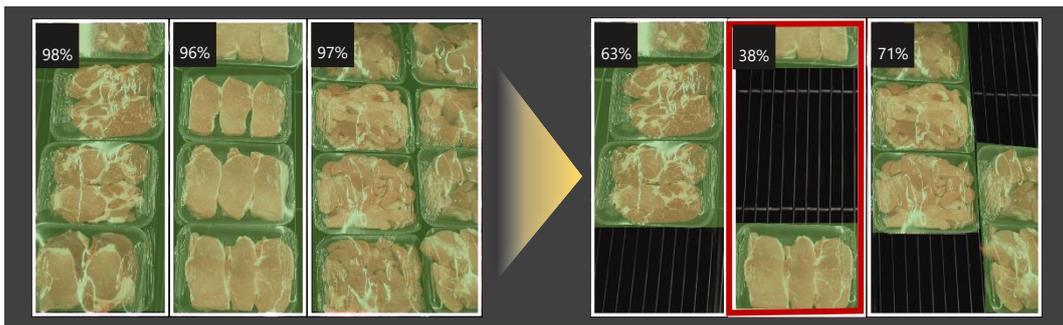
駐車状況をリアルタイムに確認可能



駐車エリアの行数・列数を指定するだけで判定領域を簡単に設定可能

3. 人・車両だけでなく幅広いユースケースで利用可能な「映像変化検知」

- 基準となる元画像を学習し、映像の変化を検知。変化量を変化率（%）で表示でき、また任意設定した変化率をもとに通知が可能。
- 基準となる元画像は複数枚登録が可能。それぞれの画像から特徴を学習できるため、本来検知が不要な明るさの変化などは映像変化とは認識せず、誤検知を低減。
- 生産現場では、装置の稼働を妨げる人や物などを検知して通知することで、安全支援に貢献。
- スーパーマーケットでは、特定の商品コーナーの欠品状態を通知することで、在庫管理の強化を支援。
- 倉庫内では、通路上への荷物の置き去りを通知するなど、異常発生時の早期発見や未然防止に寄与。
- パトランプやスピーカーなど、さまざまなデバイスと連携することで、検知結果に応じた警告や通知が可能。



スーパーマーケットでの使用イメージ（変化率が設定した値を下回った場合に通知）



倉庫内での使用イメージ（変化率が設定した値を上回った場合に通知）

〈ネットワークカメラの市場動向〉

防犯や防災などのセキュリティ分野の成長に加え、店舗のマーケティング調査や製造現場の安全管理、医療現場における対面や接触の回避など、多岐にわたる分野で活用が進んでいます。また、AI 技術などと組み合わせた映像解析ソリューションの需要も高まっています。

2021 年の世界市場は約 123 億米ドル（前年比約 15% 増）と、市場規模が拡大したとみられます。2022 年も引き続き拡大基調を維持し、世界市場で約 138 億米ドル（前年比約 12% 増）と予想しています。

* 出典：テクノ・システム・リサーチ社「2020 年版ネットワークカメラ市場のマーケティング分析」

〈製品仕様について〉

製品仕様の詳細はキヤノンホームページをご参照ください。

<https://canon.jp/business/solution/networkcamera/lineup/analysis/aiaccelerator>